

様式6

平成25年10月14日

神奈川県知事 殿

神奈川県新しい公共支援事業運営委員会

会長

萩原 かつ子

新しい公共支援事業の評価結果報告について

新しい公共支援事業の評価結果報告（平成25年度上半期）を別紙の通り提出する。

運営委員会による評価結果報告（平成25年度上半期）

事業数も多く内容も多岐に渡る本県の新しい公共支援事業の事業実績や成果を体系的に取りまとめ、成果報告書という形で一冊の報告書にした意義は大きい。紙面の関係で、事業プロセスを充分、伝え切れてはいないものの、NPOの活動基盤強化や、多様な主体による協働の参考になると考えられる。

運営委員会としては、事業区分ごとや全体を通しての評価を行ったが、いずれの事業も一定の成果や効果が出ている一方で、課題があることも明らかとなった。共通して言えるのは、今回の取組みを一過性のものとして終わらせるのではなく、事業に取り組んだNPOや中間支援組織、また行政や企業が、その成果を今後につなげ、継続した取組みを行う必要があるということである。

政権交代により、新しい公共という言葉自体は使われなくなるかもしれないが、行政だけでなく、NPO、市民、企業がこの新しい公共という理念を引き続き、共有していただければ、有難い。

また、新しい公共支援事業の成果報告会として開催した新しい公共フォーラムは、代表的な取組み成果を単に聞いてもらうだけではなく、ワールド・カフェという方法で、参加者が自ら考え、話し合う場を設けた。参加者同士が意見交換できたことで、多くのヒントを得られたと思うし、横のつながりもできたのではないかと思う。

以上、平成25年度の上半期は、成果のとりまとめと評価、成果の普及に取り組んだ。

これで新しい公共支援事業はすべて終了したが、先に述べたように、今後も何らかの形で、新しい公共という理念が継承され、ここでの取組みや成果が生かされていくことを期待したい。